

建設業の3つの役割

建設業は地域経済の発展と雇用を支える大きな産業です。住宅建設、道路建設、河川等の社会資本整備を担い、人々の快適な暮らしを支えています。また災害時の応急復旧や積雪対策など地域防災の担い手として、重要な役割を果たしています。

① 社会資本整備・維持の担い手

県民の生活や経済活動の基盤となる社会資本整備の担い手

【岐阜県が管理する社会インフラ】

◆道路延長4,152km(全国11位)、橋りょう数1,631橋(全国2位)、トンネル延長99,375m(全国2位)[道路統計年報2013]

② 地域防災の担い手

高齢化する社会資本の維持管理、災害時の応急復旧や除雪活動など地域防災の担い手

災害時に、地域の建設業者がいち早く現場に駆けつけ、道路・河川等の社会インフラの早期復旧を担っています

③ 地域の経済と雇用を支える基幹産業

県内就業者数の6.9%、県内総生産の4.8%を占める地域の基幹産業

◆建設業の就業者数61,759人(2014経済センサス基礎調査)

県内建設業の経済生産額3,424億円(2012市町村経済計算)

